

# 西小コミュニティ通信

幌別西小学校が展開している「コミュニティ・スクール事業」をご紹介します

## 携帯電話・スマートフォン等についてのアンケート結果

今年5月に、4～6年生を対象に実施したアンケートの結果から、本校の子どもたちの使用状況は以下のとおりです。

- ◎4年生以上の約80%が自分専用のネット機器を持ち、その多くはゲーム機。
  - ・スマホは17%であるが、前年の調査より増加。
- 自分専用のネット機器をもつ約80%のうち、
  - ・3時間以上使用している子どもが14%、前年の調査より増加。
  - ・8時以降、ネット機器を使用している子どもは48%、10時以降の使用も10%
  - ・「勉強がおろそかになっていると思う」「生活のリズムが崩れていると思う」と回答する子どもがいずれも約25%
- ネット機器の使い方について、「家庭内でルールがない」が34%

本校でも、長時間使用、夜遅くまでの使用といった状況があり、少なからず学習・生活への影響も見取れます。そうした中で、先日道教委が主催する「子どもたちのインターネット利用についての正しい理解」と題する講演会がありました。その講演から、大人の向き合い方に関する一部を紹介いたします。

- ・ネット型ゲーム機の普及、Wi-Fi 運用や格安SIMにより、子どもがネット機器をもつハードルが以前に比べ下がっている。子どもをネットから切り離すことは困難
- ・これからの時代、ネットリテラシー（情報の収集、取捨選択、発信が上手にできる力）が必要であり、そのための知識のみならず経験も必要。
- ・子どものネット利用は大人と異なる。子どもは交流・共有がメインのサービスが主流。自分を表現したい、共感されたいという「共有・発信型」の利用が子ども。
- ・子どもの使い方や考えていることが「大人とは異なっている」ことを理解し、ネット利用について否定から入らずまずは受け入れる。
- ・その上で、大人の考えていることを伝え、考え方の差を埋める努力を双方で。
- ・「なぜ・どうまずいいのか」を共有することが大事。特に、長時間利用は睡眠の量・質の低下、体調管理や学校生活へ影響がある。
- ・帰宅から寝るまで、どのくらい使えるかを「見える化」し、使い方を子ども自身に考えさせる。布団・ベッドへの持ち込みは危険な段階、その前段階として「自室への持ち込み」の抑制、家庭内での約束を。

テレビ、ゲーム、スマホ等、メディアといかに上手に向き合うか、そのため、本校では「メディアの利用2時間以内」を掲げています。ご家庭でのルールづくりはいかがでしょうか…？

## 放課後学習サポートが始まりました～コミュニティ・スクール事業～



### 子どもたちがお世話になる皆様

- 波多野習子 様 前登別市富士保育所長
- 山田 紀子 様 前登別市幌別東保育所長
- 坂本 敦子 様 前登別市保育所栄養士
- 馬場 義幸 様 前学校支援地域本部コーディネータ
- 木挽久美子 様 幌別西小学校学校運営協議会委員
- 高橋 千江 様 幌別西小学校学校運営協議会委員
- 西田 次男 様 元幌別西小学校教諭
- 西田アヤ子 様 元幌別西小学校教諭
- 三浦 澄子 様 市教委指導室指導員
- 小澤 範男 様 市教委指導室指導員
- 寺山 義民 様 市学校支援地域本部コーディネータ
- 永井 延和 様 元青葉小学校校長、外部人材活用事業講師

今年度も、左の名簿にある皆様のお力添えをいただき、この学習会を継続できることとなりました。

地域と学校の接点として、また子どもたちが楽しく学習に取り組みながら力をいっそう伸ばしたり確かめたりできる機会としてすすめてまいります。

### 運動会が無事に終了いたしました

雨で1日順延となりましたが、6月11日（日）本校の運動会が終了いたしました。

早朝より、学校運営協議会委員の皆様、町内会の皆様をはじめ、たくさんの皆様にお越しいただき、グラウンドで躍動する子どもたちへのご声援、そして、賞状を受け取りに来た子ども一人一人に励ましをいただきましたことにお礼申し上げます。

ありがとうございました。



- 7月24日（月）1学期終業式
- 8月18日（金）2学期始業式

8月26日（土）には、小・中学校合同避難訓練を計画しています。

発行：平成29年6月27日 第3号 登別市立幌別西小学校（学校運営協議会事務局）  
TEL：0143-85-2364 FAX：0143-85-2025

◇この「西小コミュニティ通信」は、本校が推進するコミュニティ・スクール事業の活動を保護者、地域の皆様にご紹介する広報紙です。